

中央ほうかつ だより

第 95 号



配布地区：相生・穴切・朝日・春日

中央ほうかつ管内顔のみえる連携交流会を開催しました

8 月 29 日に管内の顔のみえる連携交流会を開催し、医療機関や介護事業所 19 箇所と学生の 44 名にご参加いただきました。「あなたの想いをかなえたい～意志決定を支える医療と介護の連携とは～」をテーマにそれぞれの立場で意見を出し合い交流をしました。

「自宅で過ごしたい」「好きなものを食べたい」「家族とゆっくり話したい」年齢や病気に関わらず、誰もが自分らしく生きるための希望を持っています。支援者の立場では、希望を実現するには多くの課題があり、悩むこともあります。その人の気持ちを出発点とし、医療・介護の立場をこえて話し合い、工夫することで、実現できることもあります。これからは地域の専門職が連携し、一人ひとりの想いを大切にしながら、その人らしい暮らしや生き方を支えていくために、できることについて継続して考えていきたいと思えます。



大勢の皆さんの
ご参加、ありが
うございました！！



家族介護教室を開催しました

7 月 25 日に協働支援センターで家族介護教室を開催し、10 名のご参加をいただきました。甲府市役所健康政策課の内藤さんをお招きし、『甲府市の歌体操』で体をほぐしたあと、ペーパークラフトでバラ作りを行いながら介護者同士交流を深め、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



9 月 19 日（金）にも中央公民館にて家族介護教室を開催します。

テーマ：「気になる老後のお金のこと」

問い合わせ先：中央ほうかつ

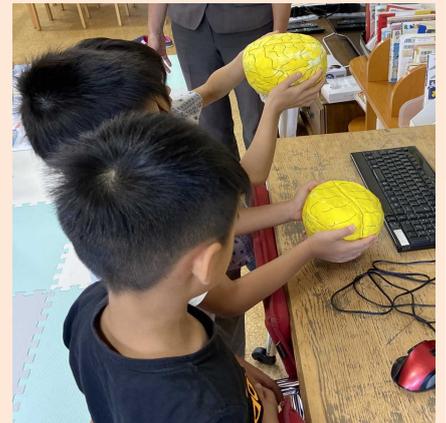
電話 225-2345



小学生といっしょに認知症を学びました！

すみれ保育園放課後児童クラブの小学生に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。絵本や脳の模型を使って、認知症とは何か、認知症の人の気持ちや接し方を学びました。参加した児童からは、「困っているお年寄りを見つけたら、声をかけて助けたい」といった感想をもらい、支援の芽が育ちました。

認知症になると、さまざまなことを忘れてしまっても、決して何もできなくなるわけではありません。誰かのサポートがあれば、その人らしく生活を続けられます。私たちは、認知症になっても暮らしやすい地域を目指して、引き続きサポーターを増やす活動を進めていきます。



甲府市 認知症サポーター養成講座のお知らせ

日時:11月5日(水) 10:00~11:45

場所:甲府市役所本庁舎1階 市民活動室(ローソン横)

対象:甲府市在住、在勤の方

申込み:10月27日(月)までに電話でお申込みください

055-237-5484 甲府市役所 地域包括支援課

定員:先着20名



認知症について
学んでみませんか

中央ほうかつ

65歳以上の方の健康・介護・福祉等の
総合相談窓口(甲府市から委託を受けています)
です。気軽にご相談ください。

☎ 225-2345

メールアドレス:k-houkatsushien@s.yamanashi-min.jp

メールでの相談も受け付けています。お気軽にどうぞ。



甲府市丸の内 2-9-28 勤医協駅前ビル 4F